

静岡県駿東郡小山町須走の発掘調査のご案内

山梨県富士山科学研究所

この度、山梨県富士山科学研究所では、山梨県 富士山噴火対策建物避難判断基準策定事業の一環として、過去の火山災害による建築物の影響を調査することを目的に、1707年宝永噴火で埋没した遺跡の発掘調査を下記の通り実施いたします。なお、この発掘調査は、文部科学省科学研究費補助金 学術変革領域研究（A）『暴れる気候』と人類の過去・現在・未来（代表：中川毅） B01 日本考古班 「人は「暴れる気候」にどう対応したか－年縞研究と日本考古学とのコラボレーション－」（代表：工藤雄一郎）と協力して実施するものです。

静岡県小山町須走では1707年宝永噴火で宿場町全体が埋没しており、これまでの2回におよぶ試掘調査でその一端が明らかにされてきました。試掘調査は幅の狭いトレンチ調査でしたが、今回は約100m²の調査区を地権者様のご理解・ご協力のもと設置し、2週間にわたり火山学・火山防災学（山梨県富士山科学研究所）・考古学（東京大学：杉山浩平）の学際的共同発掘調査として行います。

今回の調査地点は、古文書の記録によると噴火の初期の段階で落下した噴石から火が出たところとされています。また、昨年の本研究プロジェクトの開始以来、地中レーダー探査を須走地区内で重点的に行っている中で、本調査地点では埋没建物が存在すると考えられています。

発掘調査は、2年間実施することを予定しており、本年度の調査は噴火噴出物を取り除き、木造建物の倒壊状況を検出し、詳細な検討と記録を残すことを目的として実施します。

調査期間中は、関係者をはじめ、行政関係者、研究者、学生の皆さんに適宜公開し、ご意見・ご助言をいただけますと幸いです。なお、周辺環境および安全面への配慮が必要なため、ご来訪の際は、事前に下記の連絡先までご一報いただけますようお願い申し上げます。

記

調査期間：2025年11月27日（木）～12月11日（木）

公開期間：2025年11月29日（土）～12月8日（月）

現地説明会・マスコミ向け説明会：12月7日（日）午後（予定）

注：12月3日（水）は現場作業を休みとしており、土日は調査を行います。

場所：静岡県駿東郡小山町須走 135-2

調査担当：下記参照

アクセス

電車：JR 御殿場駅から河口湖駅行きバスで「須走浅間神社前」下車 徒歩 5 分

富士急行 河口湖駅から御殿場駅行きバスで「須走浅間神社前」下車 徒歩 5 分

車：小山町須走支所の駐車場が便利です。駐車場から徒歩 5 分

(以前お知らせした場所から変更となりました。ご注意ください。)

問い合わせ先

〒153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1 東京大学 18号館 916

杉山浩平（東京大学大学院 総合文化研究科 グローバル地域研究機構）

研究室電話 03-5454-6852（調査期間中は下記メールにてご連絡ください）

メール sugiyama@mas.c.u-tokyo.ac.jp

〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田字剣丸尾 5597-1

久保智弘（山梨県富士山科学研究所 富士山火山防災研究センター）

電話 0555-72-6211

メール tkubo@mfri.pref.yamanashi.jp



調査地点・駐車場地図

以上